

消防出張所設計基準

（ 電 気 設 備 工 事 ）

横 浜 市 まちづくり調整局

公共建築部 電気設備課

【注】

この基準は消防出張所を対象にしているため、消防署に当てはまらないところは適宜読み替えること。また、照明器具については原則として、JIL5004 - 2006（社団法人 日本照明器具工業会）によること。

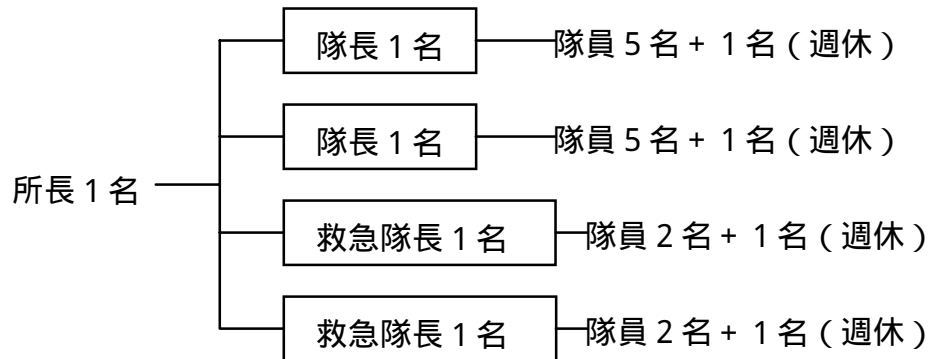
目次

1 . 消防出張所の組織	3
2 . 調査・打合せ	4
3 . 工事施工区分表	7
4 . 消防出張所の工事内容	8
5 . 電力電話引込工事	9
6 . 動力設備工事	1 0
7 . 電灯コンセント設備	1 7
8 . 電話配管設備	2 2
9 . テレビ共聴視設備	2 3
1 0 . 放送設備	2 4
1 1 . 通信指令用配管その他弱電設備	2 5
1 2 . 通信指令設備	3 0
1 3 . 各室別機器取付一覧表	3 1
付録 . 無線局の免許を受けるまでの手続	3 6

1．消防出張所の組織

消防出張所は火災，災害時の消火，防災活動及び救急活動を任務としており，平成18年4月現在，18消防署の傘下に80消防出張所がある。さらに災害時，8分以内に現場到着をめざして現在も拡大整備中である。

組織上は次のようになっている。



各隊は午前8時45分から24時間勤務体制をとっており，1日間隔の交替勤務を行う。

2. 調査・打合せ

実施設計にかかる前に十分な現場調査，及び関係部門と綿密な打合せを行なうこと。

(1) 敷地周辺調査

ア．電灯・動力関係

敷地周辺の東京電力柱の位置，電柱番号，高低圧配電線路の状況，柱上変圧器の位置，容量等を調査し，引込予定地点を想定する。

イ．電話関係

敷地周辺の電話柱の位置，電柱番号及び電話線路状況。

ウ．電波障害関係

待機宿舍の併設及びホ - スタワ - による電波障害の発生の事例があるので，電波の到来方向，現場周辺の映像状況を調査する。対策については，消防局施設課と協議して決定する。

(2) 東京電力打合せ

ア．現場調査終了後，東京電力の営業所において引込地点の打合せを行ない，打合せ記録を報告する。

イ．引込地点の決定は，東京電力の現場立合の後で正式決定する。

(3) 電話局打合せ

電力引込位置決定後，電話局において引込地点の打合せを行ない，打合せ記録を報告する。

電話引込回線数は次の通りとする。

一般電話回線	．．．．．	1回線
専用回線（消防局内線）	．．．．．	1回線
専用回線（OA用）	．．．．．	1回線
専用回線（データ端末用）	．．．．．	1回線
専用回線（指令用）	．．．．．	1回線
	合計	5回線

(4) 建築・設備設計者との打合せ

設計に際して建築・設備設計者と十分な打合せを行ない，設計上の相違のないようにすること。

ア．建築設計者との打合せ

- a．分電盤，端子盤等設置場所の壁フカシ，構造上の検討。
- b．点検口の位置。
- c．天井伏図への埋込器具の記入，天井切込補強の依頼。
- d．雨量計，風速計（将来用）の基礎及び自立アンテナの場合の基礎位置の確認。
- e．トップライトの有無。
- f．通信指令用ピット等の依頼（エ．建築工事への要望事項参照）
- g．アンテナ位置の調整（TV用，通信指令用，避雷針）

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

イ．設備設計者との打合せ

- a．空調動力設備の位置，容量の確認。
- b．冷暖房設備の遠方操作及び警報の確認。
- c．力率改善コンデンサー設置依頼。
- d．天井換気扇，空調換気扇等の操作スイッチの施工区分と位置の確認。
- e．屋外給排水管路と電気地中管路の取合い。
- f．空調屋内機と電源接続の位置確認。

ウ．消防局打合せ

図面完成時に消防局施設課へ図面を1部提出してチェックを受ける事。

エ．建築工事への要望事項

一体盤用ふかし壁

幅1,300mm，奥行300mm（受付に近いところがよい）

通信指令機器用ピット

端子盤から幅200mm，深さ200mm，長さ5,000mmのピット。ただし，ドア，柱等機器が置けない場所は除いて5,000mmを確保する。端子盤と通信指令機器設置場所が離れていて，その間のピットが設けられない場合はシンダーコンクリートを200～250打ってもらい，端子盤から通信指令機器用ピットまで(75)×5本配管する。

端子盤～カウンターパネル間のピット，またはフリーアクセス

端子盤からカウンターパネルまで幅300～500mm，深さ200mmのピット，またはフリーアクセスを設ける。

受付カウンター裏面のE P S

受付カウンターの裏面に有効幅100mmのE P Sを確保する。

受付カウンター通線作業用開口部

受付カウンター裏面E P Sの通線作業用として足掛の後部分の板が取り外し可能な開口部を設ける。

駆け付け電話用基礎

駆け付け電話機が外部に自立型で設置される場合は幅500mm×500mm，高さ200mmの基礎を設ける。ただし，壁面取付の場合は不要。

雨量計及び風速計用架台

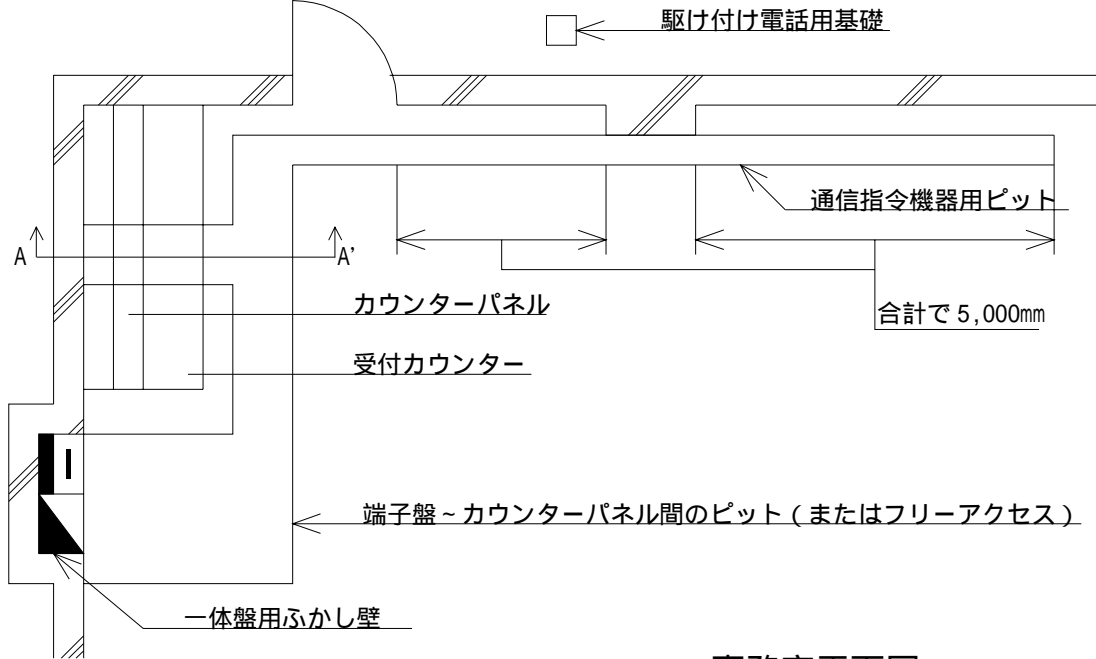
屋上に雨量計及び風速計取付け用に幅700mm×1,000mm，高さ200mmの架台及び取付けボルトを設ける。

自立アンテナ用架台

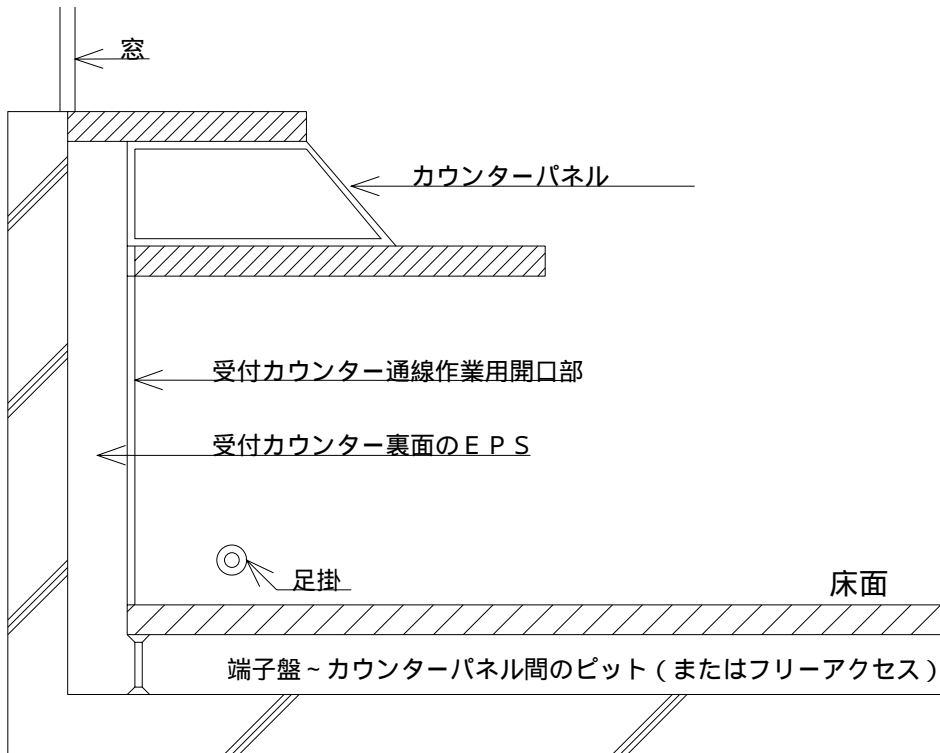
アンテナが自立型で設置される場合は基礎を設ける。

二階立ち上がり配管用ふかし壁またはE P S

一階から二階に立上がる配管が多数あるので二階の適当な壁面にふかし壁，またはE P Sを設ける。



事務室平面図



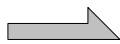
受付カウンター断面図（A - A'）

3. 工事施工区分表

種 別	区 分	建築	衛生	電気
梁、床、貫通スリーブ及び箱抜き			○	○
同上 鉄筋補強		○		
各盤取付部分及び立上げ配管の壁ふかし		○		
ホース吊上げ機				○
ホイストクレーン		○		
可変掲示器				○
雨量計，風速計，自立アンテナの基礎及びアンカーボルト		○		
壁付換気扇				○
同上 取付枠		○		
天井埋込換気扇			○	
同上スイッチ、配管配線、電源供給				○
冷暖房設備用電源及び接地線接続				○
冷暖房設備用スイッチ取付			○	
照明器具等天井開口、補強		○		

4．消防出張所の工事内容

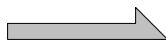
電気設備工事



競争入札

- 1．電力・電話引込工事
- 2．動力設備工事
- 3．電灯コンセント設備工事
- 4．電話配管設備工事
- 5．放送設備工事
- 6．テレビ共聴視設備工事
- 7．通信指令用配管工事
- 8．OA 端末用配管
- 9．その他弱電設備工事

通信指令設備工事



既設通信設備工事業者と随契

- 1．配線工事
- 2．通信機器設置工事（非複合単価）

OA 端末設備工事



別途消防局で契約

- 1．配線工事
- 2．OA 端末設備設置工事

5．電力電話引込工事

(1) 工事範囲

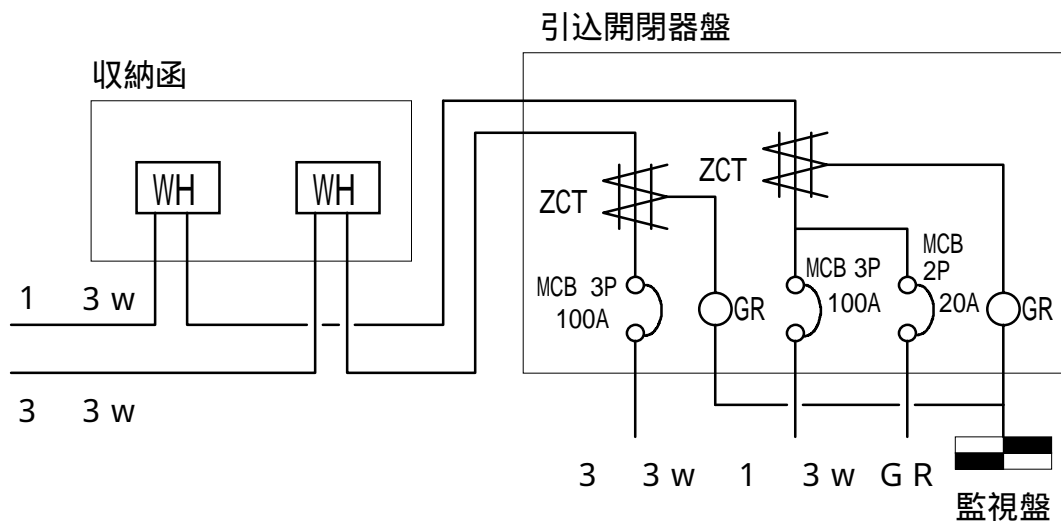
- ア．電源は，引込地点から電灯及び動力分電盤の一次側つなぎ込みまでとする。
- イ．電話は，引込地点から電話主装置盤までの配管とする。

(2) 引込方法

- ア．架空引込とするか，あるいは引込柱(CP10m程度)を設置して，それ以後は地中配管とするかは現場状況により決定する。
- イ．引込線が，消防車の出入の妨げにならない事を前提とする。
- ウ．地中管路はPE管，ハンドホール間はFEP管を使用する。
- エ．電話配管は，架空引込の場合はPE(28)×2，地中引込の場合はPE(36)×2とし，ハンドホール間はFEP(30)×2とする。

(3) 引込開閉器盤

- ア．引込点近くに取り用メーター収納函を設けると共に引込点より分電盤，動力盤までの配線長さが8mを超える場合は引込開閉器盤を取付ける。
- イ．引込開閉器をメーター収納函と一体で屋外に設置する場合は東京電力(株)の了解を事前に得る事。
- ウ．引込開閉器盤内に漏電警報器(自己復帰型)を設置する。
- エ．参考結線図



6．動力設備工事

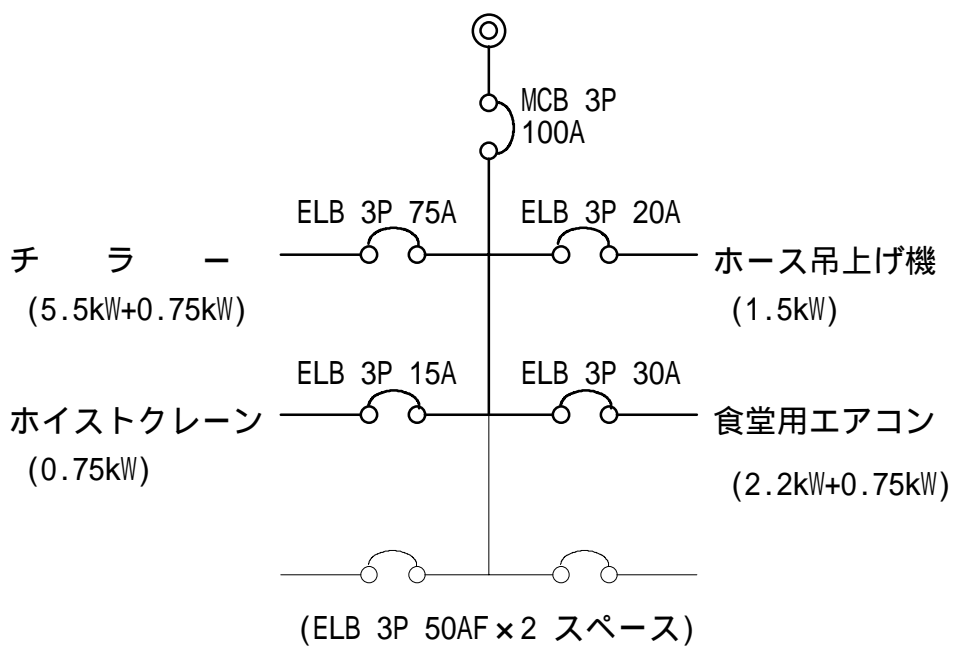
(1) 動力負荷

動力負荷には下記のものがある。

- ア．ホ - ス吊上げ機
- イ．ホイストクレーン
- ウ．冷暖房機
- エ．食堂用エアコン
- オ．オーバーヘッドドア
- カ．その他

(2) 動力盤

ア．動力盤参考結線図



イ．動力盤は、原則として電灯盤、監視盤、端子盤と一体盤とし、事務室内に設置する。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

(3) ホース吊上げ機

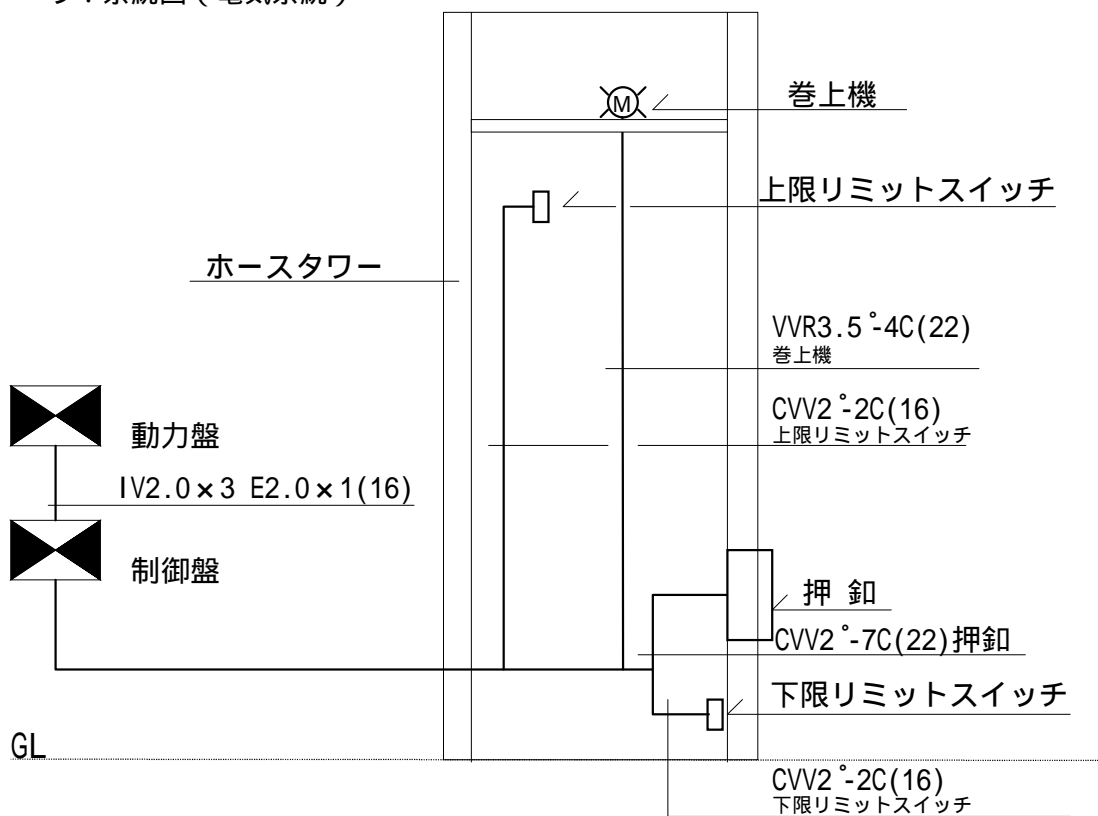
ア．指定業者

日本輸機工業（株）	03 - 3861 - 0393
日本ゴンドラ（株）	03 - 3562 - 1091
中央エレベーター工業（株）	03 - 5818 - 3441
（株）日本ピソウ	03 - 5444 - 3891

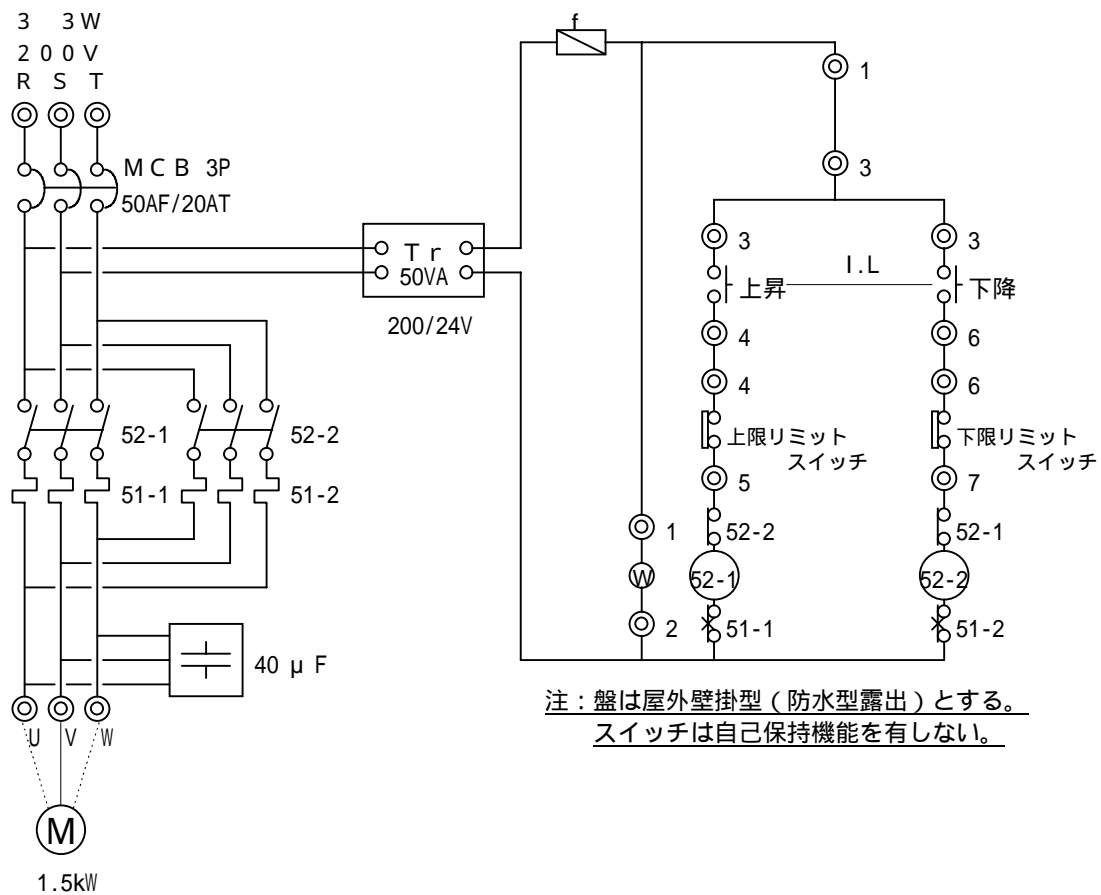
イ．ホース吊上げ機用機器類

- ホースハンガー（16本用）
- 同上用レール(SUS)（左右2本）
- 同上用巻上機（モーター1.5kW）
- ホース振れ止め（上下2本）
- 制御盤（盤メーカーに製作させる。）
- 押釦箱
- 上限リミットスイッチ
- 下限リミットスイッチ

ウ．系統図（電気系統）



エ．ホース吊上機制御盤回路図



(4) ホイストクレーン

- ア．ホイストクレーン（建築工事）への電源供給を電気工事で行なう。（0.75kW程度）
- イ．機器の近くに4P（1線アース）コンセント（20A引掛型）を設置し，付属コードに4Pプラグを接続する。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

（5）冷暖房設備

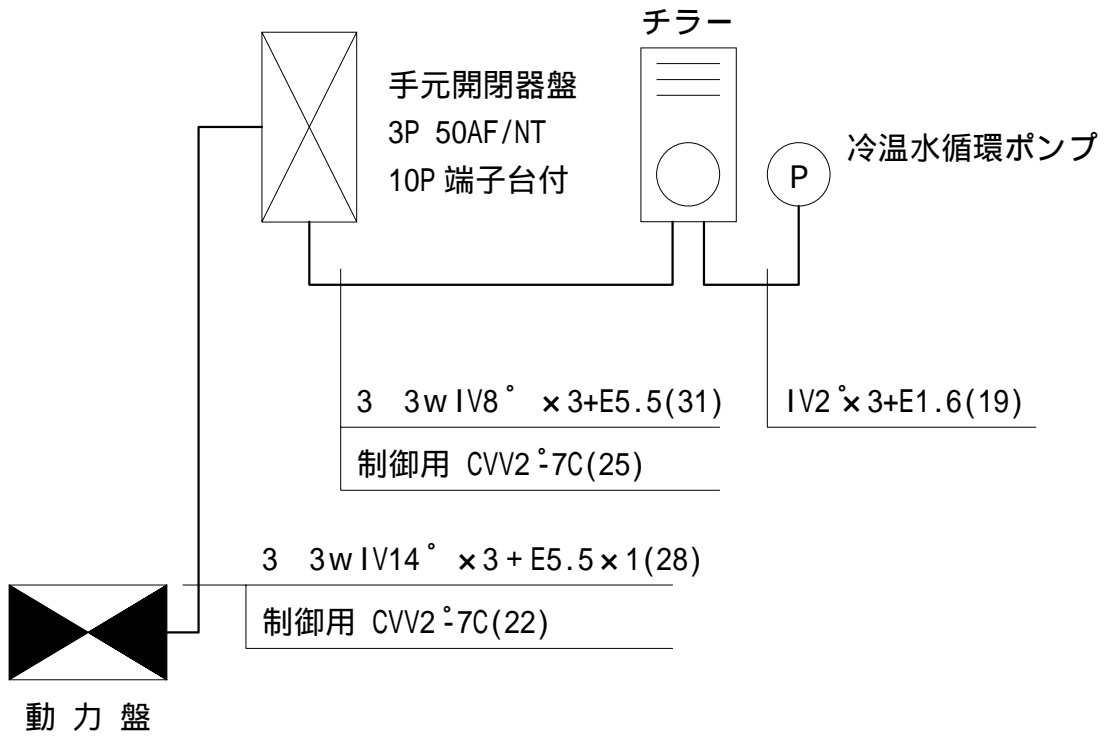
ア．チラー方式を例にした電気設備工事を下記に示す。

チラーへの電源供給（チラー取付部近くにノントリップ型手元開閉器を取付けること。）

チラーから冷温水循環ポンプへの配線。

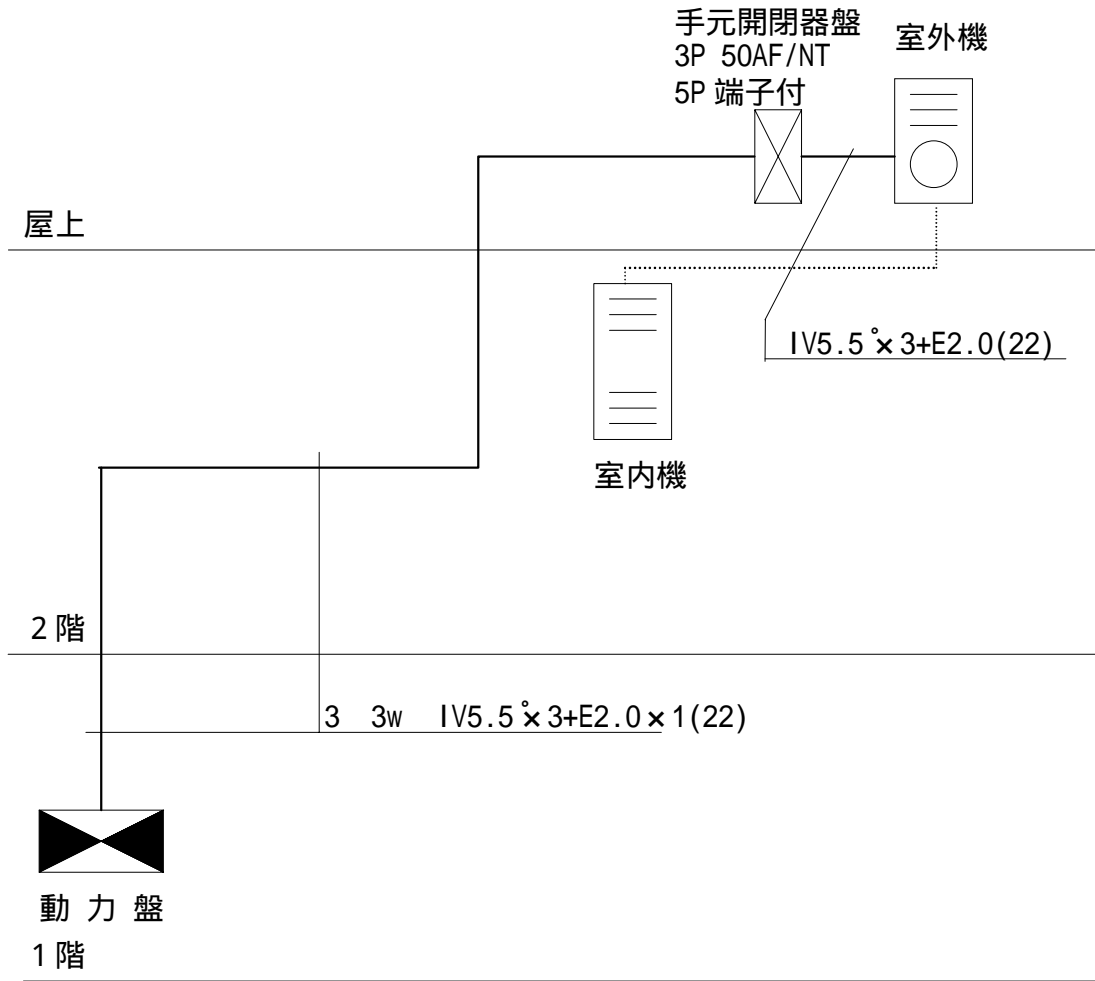
チラーからチラーリモコン（支給品，監視盤に組込）への配線。

イ．系統図



（6）食堂用エアコン

- ア．エアコンの総容量は，2．95KW程度。
- イ．室内機及び室外機の近くに手元開閉器盤を設置する。
- ウ．系統図



注：冷暖房の方式は電源容量等を考慮し，機械設備課担当者と打ち合わせの上決定する。

(7) 監視盤

ア．監視盤の機能

監視盤には下記の機能を組込むこと。

電灯及び動力の漏電警報。

消火栓総合盤の電源。

チラーリモコン（支給品）の組込み（盤の扉側表面に出すこと。）

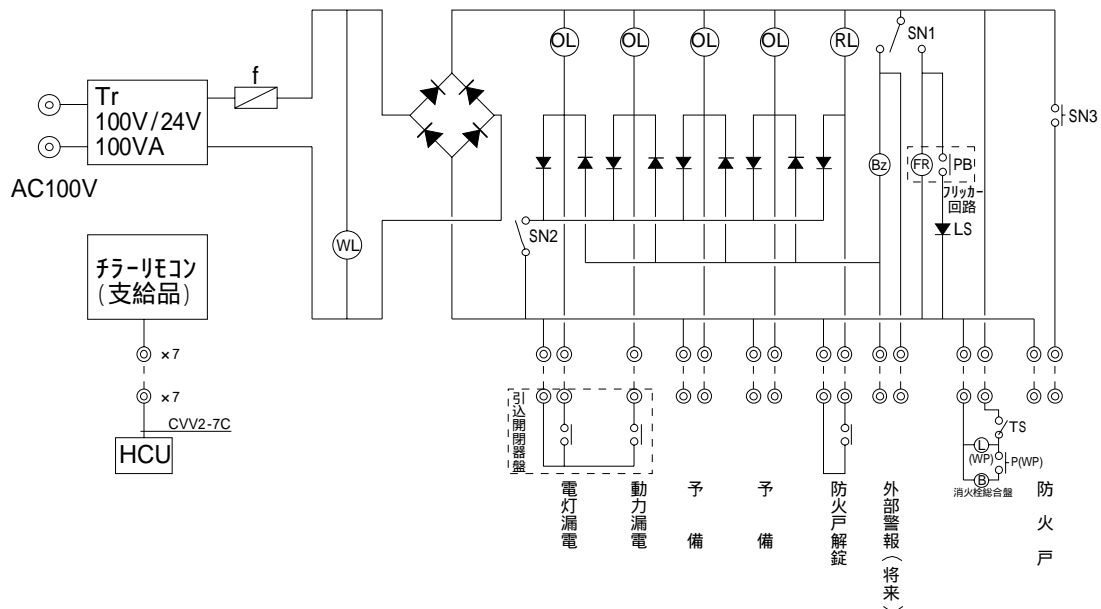
防火戸解錠スイッチ（防火戸は制御用端子付きを要望する。）

イ．監視盤の設置場所

監視盤は事務室内に設置する。

原則的には他の盤と一体盤とする。

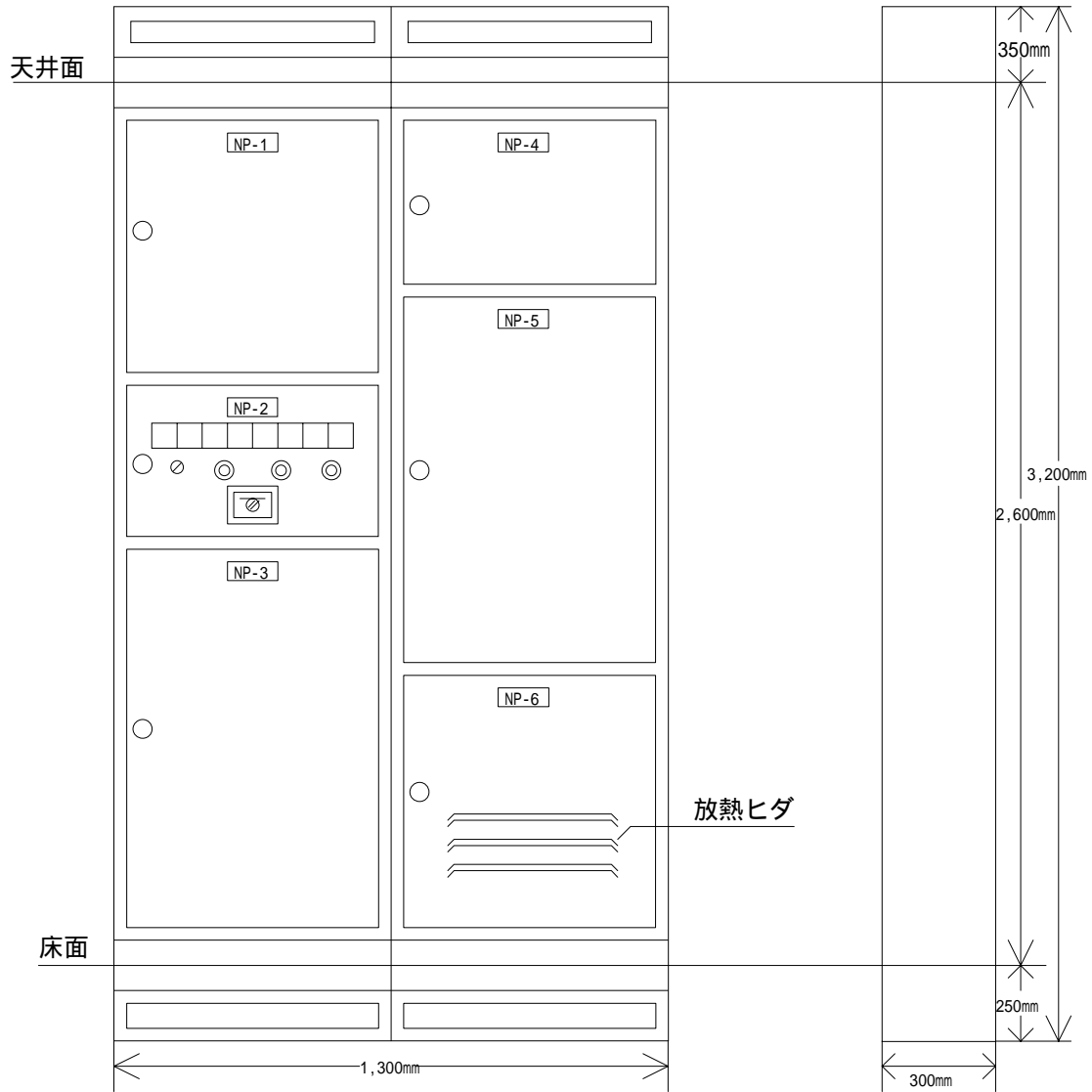
ウ．監視盤参考回路図



記号	名称	記号	名称
HCU	ヒートポンプチラーユニット	L	表示ランプ
WL	白色ランプ	P	発信機
SN1	ブザー停止スイッチ	B	ベル
SN2	ランプチェックスイッチ	SN3	防火戸解錠スイッチ
OL	オレンジランプ	RL	レッドランプ
BZ	ブザー		
FR	フリッカーリレー		
LS	スイッチ注意ランプ		
TS	F用タンブラースイッチ		

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

工．一体型盤参考姿図



記号	名称	摘要
NP - 1	動力盤	電流計（赤指針付）
NP - 2	監視盤	チラーリモコン（支給品）組込み
NP - 3	電灯分電盤	
NP - 4	リレー盤	電源切替器付
NP - 5	通信用端子盤	木板 1,200mm×500mm，放送用 5P 端子付
NP - 6	電話主装置盤	木板 500mm×500mm，F 用コンセント E T 付

注 1 原則として事務所で受付に近い場所に設置すること。

注 2 各盤の詳細は別項の各項目を参照すること。

注 3 受付から盤までのピットの外側が端子盤に接続するように配置する。

7. 電灯コンセント設備工事

(1) 一般事項

- ア. 電線管は、いんぺい及び打ち込みはP F管，露出は薄鋼，地中はP E，ハンドホール間はF E Pを原則とする。
- イ. 配線器具は大角型（照明スイッチは名前入）を原則とする。
- ウ. スwitchの点滅区分は、採光や人の動き等を考慮した省エネルギー設計とする。
- エ. 各室の照明器具はP 3 3～3 4を参照の事。
- オ. 各室のコンセントはP 3 1～3 2を参照の事。
- カ. ファンコイル用コンセントは専用回路とすると共に、点検容易な場所とし、E T付とする。またアース線は電気工事でとること。
- キ. スwitchの高さはF L + 1, 4 0 0mm，コンセントの高さはF L + 3 0 0mm，防水型はF L + 5 0 0mmを原則とする。
- ク. 換気扇のシャッターは電気式，寢室は格子付を原則とする。

(2) 電灯分電盤

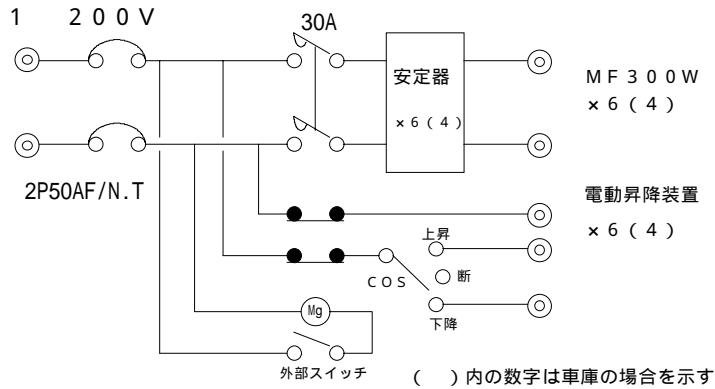
- ア. 電灯分電盤は1階事務室に設置する。2階建の場合でも1階の分電盤から供給する。
- イ. 原則として、動力盤，端子盤等他の盤と一体盤とする。
- ウ. 主幹，分岐共M C Bを使用し，分岐回路は5 0 A F / 2 0 A Tを原則とする。また，水廻りコンセント回路及び外灯回路はE L Bとする。
- エ. 予備回路を2～3見込むこと。
- オ. カードホルダーはA - 4版以上とし，ハンドルはハイロック型を原則とする。
- カ. 契約電力を少なくするため，分岐回路を極力少なくする事。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

(3) 安定器収納箱

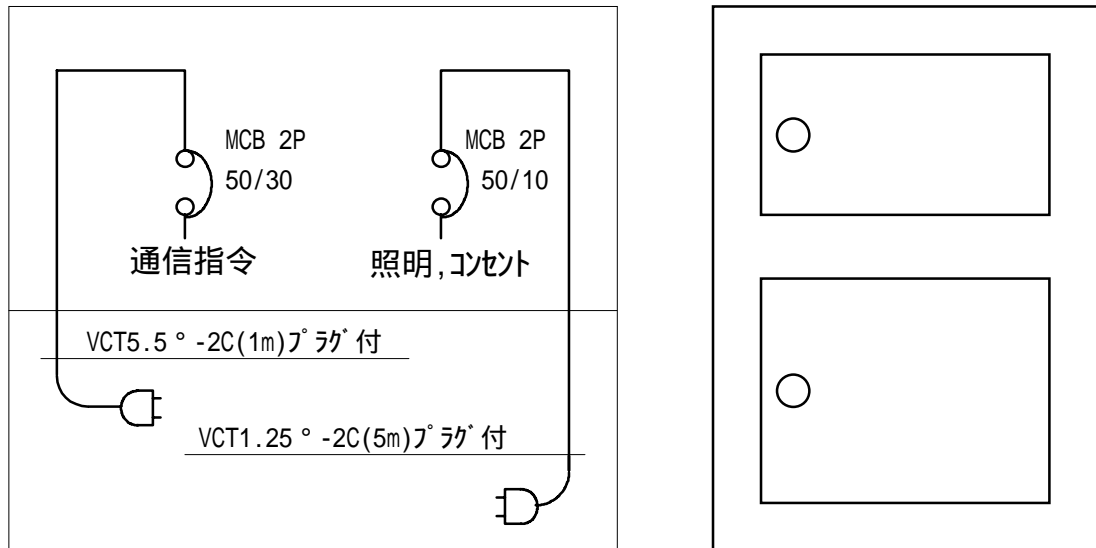
ア．訓練室及び車庫のMF300W用安定器の収納箱を訓練室及び車庫内に設置する。（建築とよく打合せる事）

イ．参考回路図



(4) 発電機接続盤

ア．停電時，車庫内に置いた携帯発電機（通信工事）の出力を各負荷に供給するための接続盤であり，照明・コンセント用300Wと，通信用2.7KWの2系統がある。



（5）市民教育用防災設備

- ア．訓練室屋外出入口に非常口灯（FL10W×1バッテリー内蔵型ガード付）1台を取付け，近くに点滅スイッチを設ける。
- イ．廊下部分出入口に非常口灯（FL10W×1バッテリー内蔵型）1台，中間部に通路誘導灯（FL6W×1バッテリー内蔵型）1台を取付け，近くに点滅スイッチを設ける。
- ウ．屋外消火栓（別途工事）に防水型発信機（P型1級）及び防水型赤色表示灯，ベルを取付け，DC24Vを監視盤より送る。消火栓内にF用点滅スイッチを設ける。

（6）リレー盤

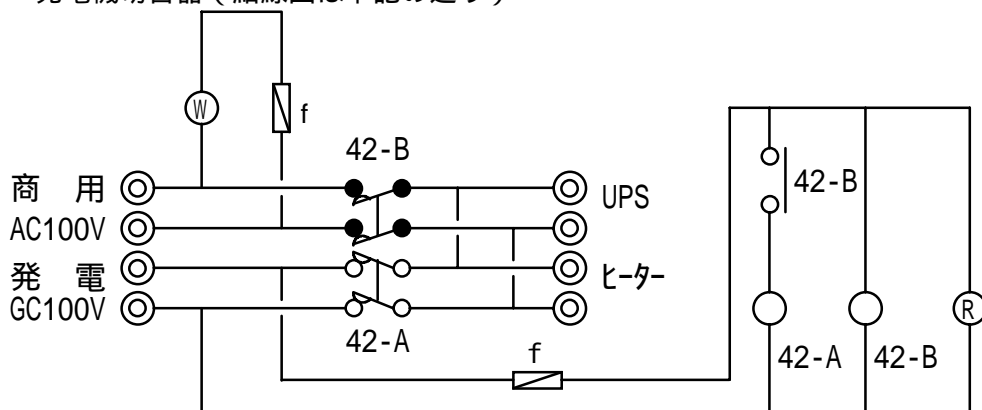
ア．リレー盤の機能

リレー盤には下記の負荷を制御する機能を組込む。

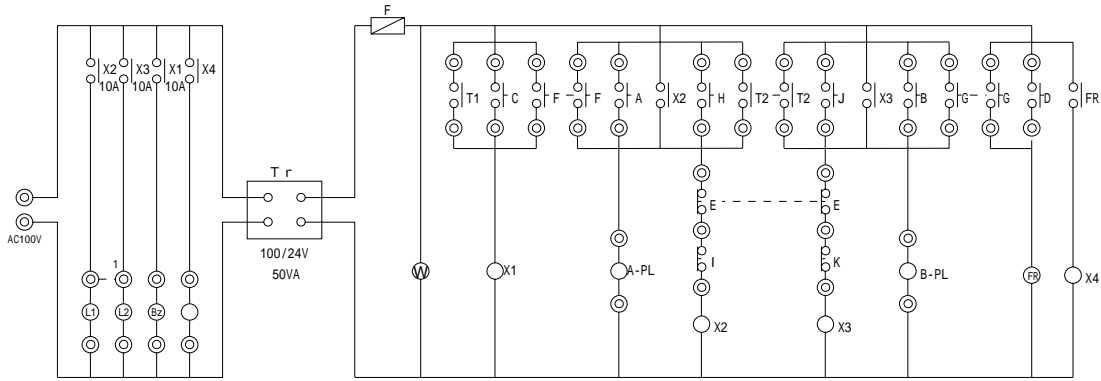
- 消防隊寝室照明
- 救急隊寝室照明
- ブザー及びベル
- 救急隊用チャイム

注．救急隊が将来設置の場合でも各機器はすべて設備しておき，リレー盤内の結線に対応する。（救急隊寝室照明を消防隊寝室照明と連動にしておき，チャイムの結線を外しておく）

発電機切替器（結線図は下記の通り）



イ．リレー盤結線図



記号	名称・摘要	記号	名称・摘要	設置場所
L 1	消防隊寢室照明	A	押釦（消防隊寢室照明用）	カウンターパネル
L 2	救急隊寢室照明	B	＂（救急隊寢室照明用）	＂
B Z	ブザー（消防隊用）	C	＂（消防隊ブザー用）	＂
	チャイム（救急隊用）	D	＂（救急隊チャイム用）	＂
W	白色灯	E	＂（寢室消灯用）	＂
X1～4	リレー	F	＂（指令電話T-2003用）	指令電話T-2003付近
F R	フリッカーリレー	G	＂（ － ）	＂
T 1	端末装置接点（通信指令工事）	H	＂（消防隊寢室照明用点灯）	消防隊寢室
T 2	端末装置接点（通信指令工事）	I	＂（ － 消灯）	＂
A-PL	パイロットランプ（A押釦用）	J	＂（救急隊寢室照明用点灯）	救急隊寢室
B-PL	パイロットランプ（B押釦用）	K	＂（ － 消灯）	＂

注 記

- 1 . 1 = 救急隊が将来設置の場合のジャンパー線
- 2 . 押釦はすべてノンロックとする
- 3 . ブザー = 松下 E A 3 2 同等品
- 4 . ベル = 松下 E A 1 4 0 4 同等品
- 5 . チャイム = 松下 E B 7 0 9 同等品
- 6 . A 及び B 押釦は内照式とする
- 7 . X 1 ~ X 3 の負荷用接点は 1 0 A 以上とする
- 8 .
- 9 .

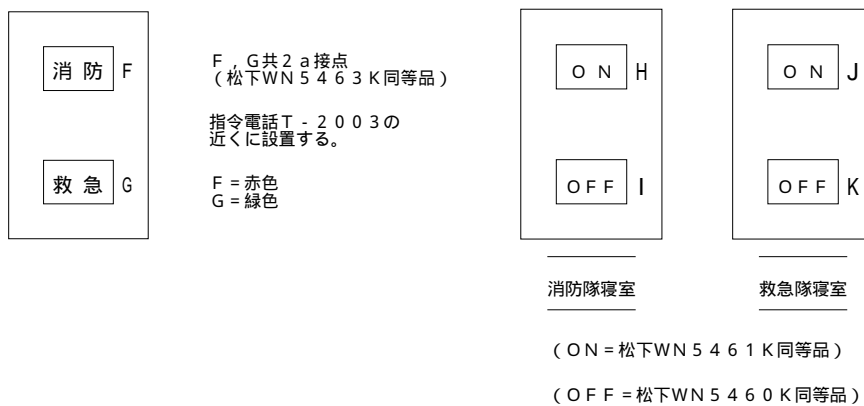
ウ．リレー盤の設置場所

リレー盤は事務室内の一体型盤内に設置する。

エ．押釦スイッチ参考図（カウンターパネル内は別項目を参照）

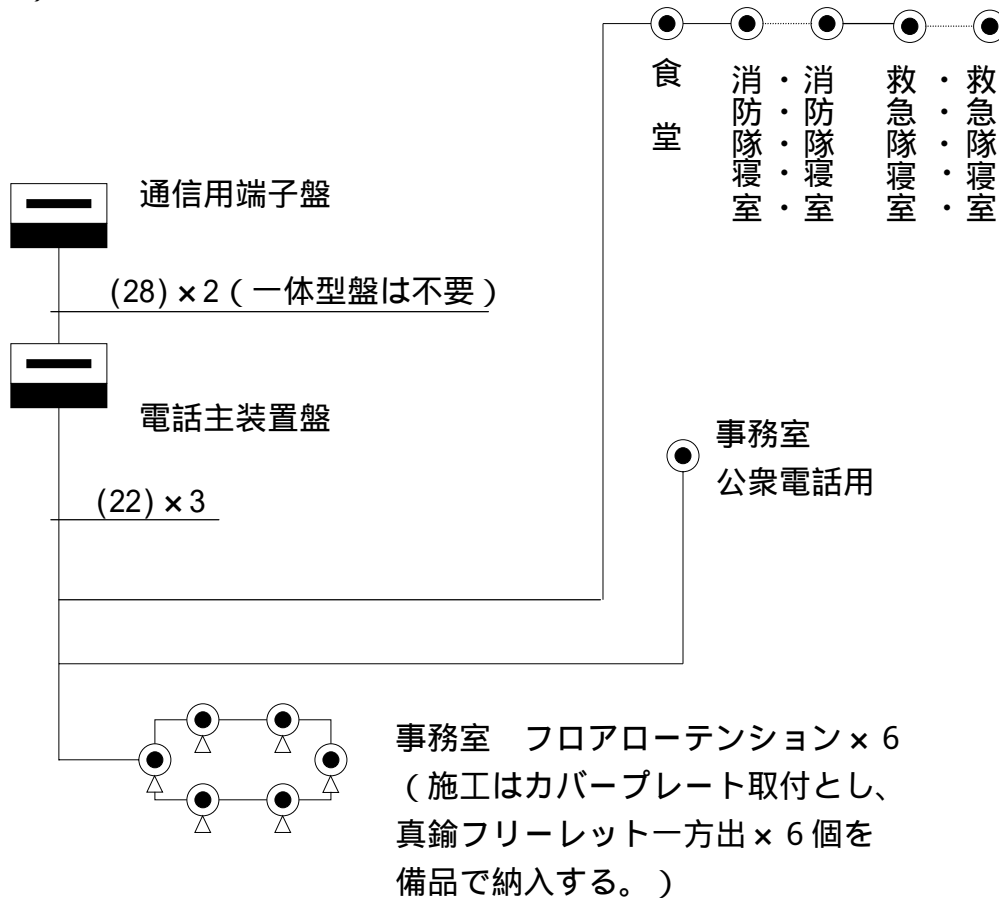
指令電話 T - 2 0 0 3 用押釦

寝室照明スイッチ



8 . 電話配管設備工事

- (1) 電話主装置盤（木板 5 0 0 × 5 0 0 , F 用コンセント E T 付）を設置する。放熱を考慮した盤にすること。原則として他の盤と一体型とする。
- (2) 電話専用の接地 E₀を施工し , 電話主装置盤の E T に接続する。
- (3) 電話主装置盤から通信用端子盤まで E (3 1) × 2 本配管する。（一体盤ならば不要）
- (4) 電話主装置盤から各電話への配管は P F (2 2) とする。
- (5) 端末盤から O A 端末への配管は P F (2 2) とする。
- (6) 系統図



9．テレビ共聴視設備工事

（1）屋上に壁面取付型のアンテナポールを設置し，下記のアンテナを取付ける。

VHF 学校標準型同等12素子ステンレス製

UHF " 20素子 "

なお，通信指令用アンテナとの取合いに注意する。

（2）2階の廊下部分に，放熱を考慮したブースター収納箱を設置し，F用コンセントE T付を設ける（受信状況が良い場合でも同様とする。）

（3）受信状況が悪い場合は，UV共用ブースターを取付ける。

（4）受信状況が良い場合は，UV混合器を取付ける。

（5）BS - 7F型の直列ユニットを事務室と食堂に設置する。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

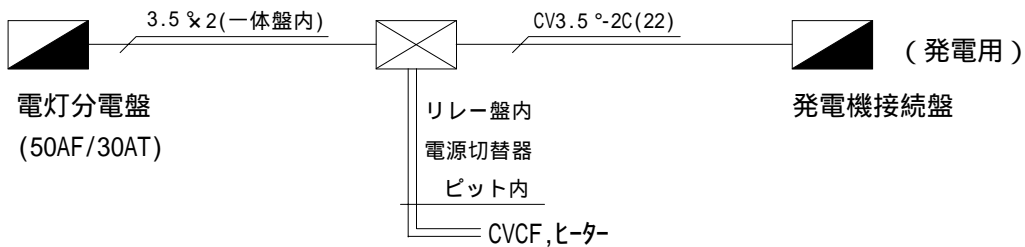
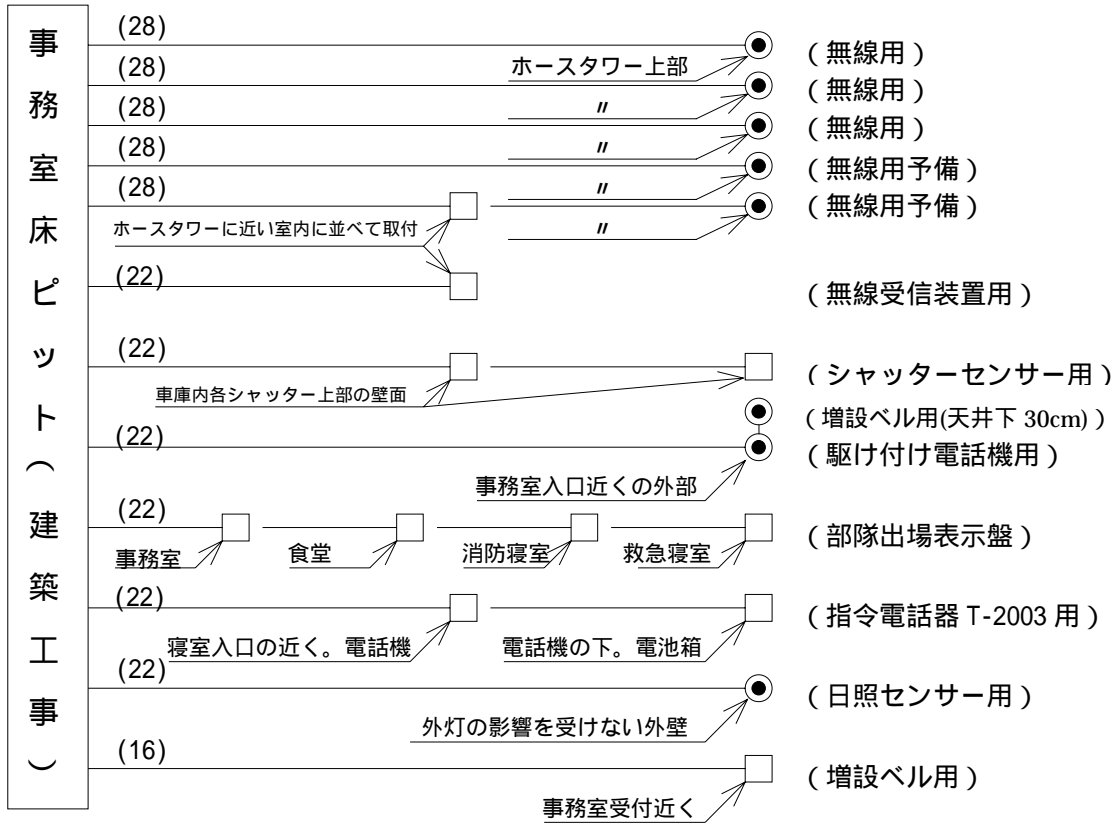
10．放送設備工事

- (1) 通信用端子盤に5P端子台を設け、P31～34の表の各部屋へスピーカー及びアッテネーターを設置する。
- (2) 放送系統は、1F、2F、救急隊寝室の3系統に分けて配線する。ただし、寝室が個室の場合は、配線を単独にする。

1 1 . 通信指令用配管その他弱電設備工事

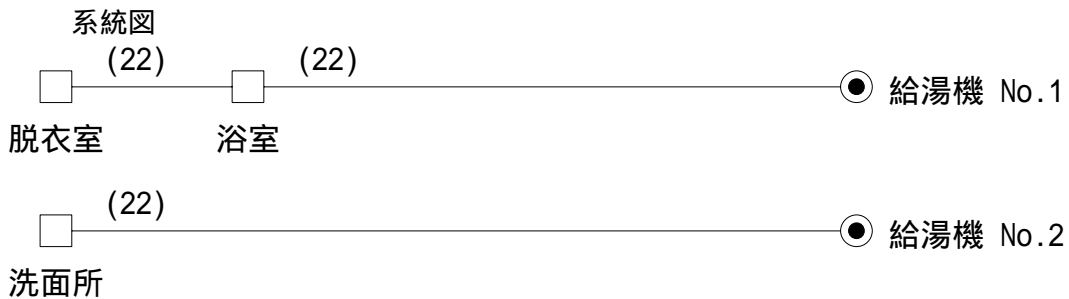
(1) 通信指令用配管

通信指令設備工事用の配管を電気工事で行なう。



(2) 給湯リモコン用配管

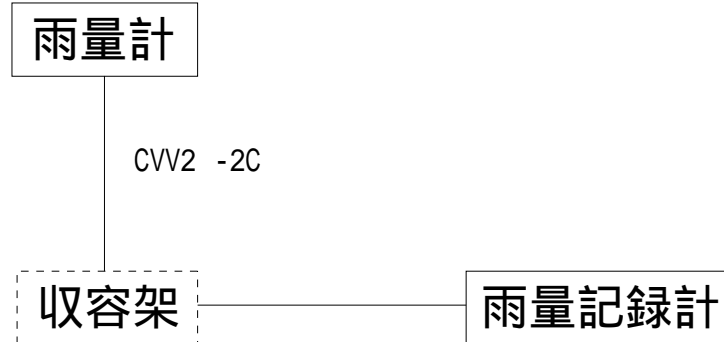
浴室及び洗面所の給湯リモコン用の配管を給湯機まで配管する



別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

（3）雨量計

- ア．屋上の雨量計用基礎（建築工事）の上に雨量計転倒マスを設置し，受付カウンタ - の上に雨量記録計を置く。
- イ．連絡配線は，CVW2° -2C PF(22)とする。
- ウ．雨量計は，中浅測器(株)製BR - 71（転倒マス = B - 011型，記録計 = B - 301型，記録用紙日巻400枚付）とする。
- エ．代理店 (株)セーコー 961-6811 担当 田口氏

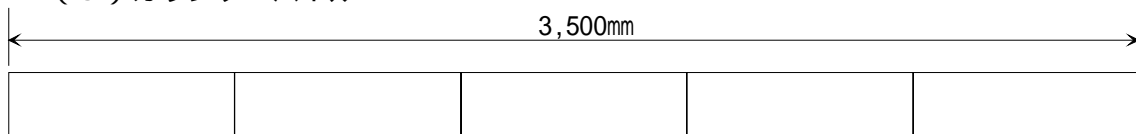


収容架は通信指令設備工事で行う。

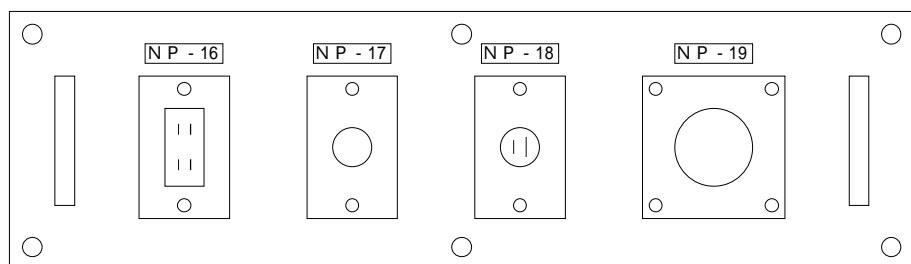
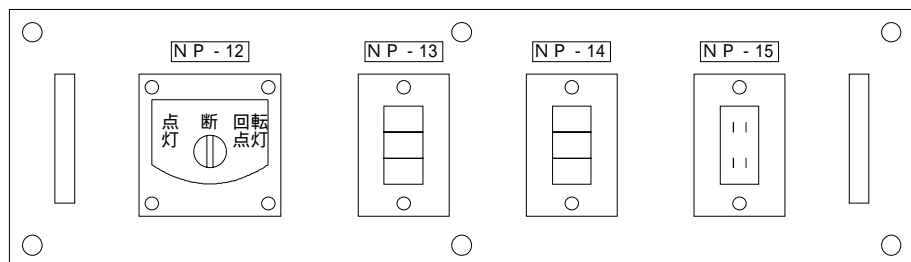
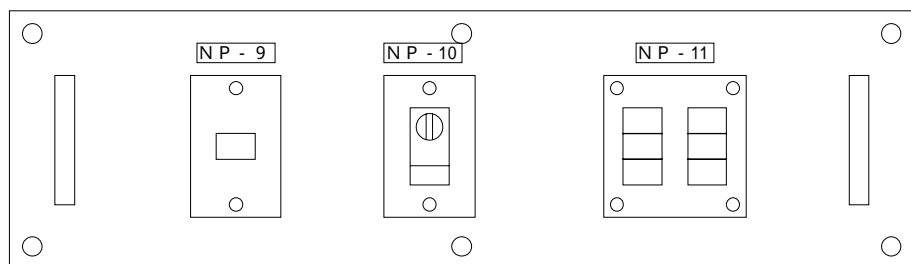
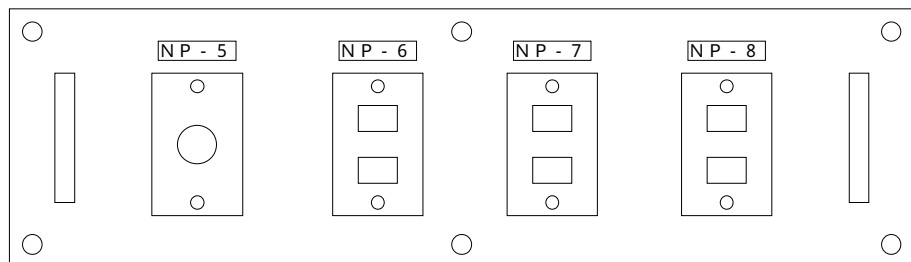
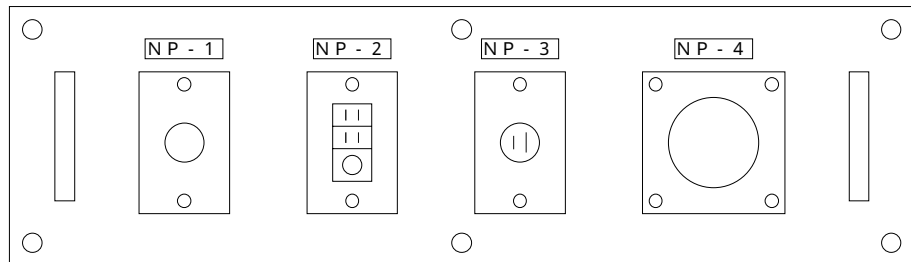
（4）風速計

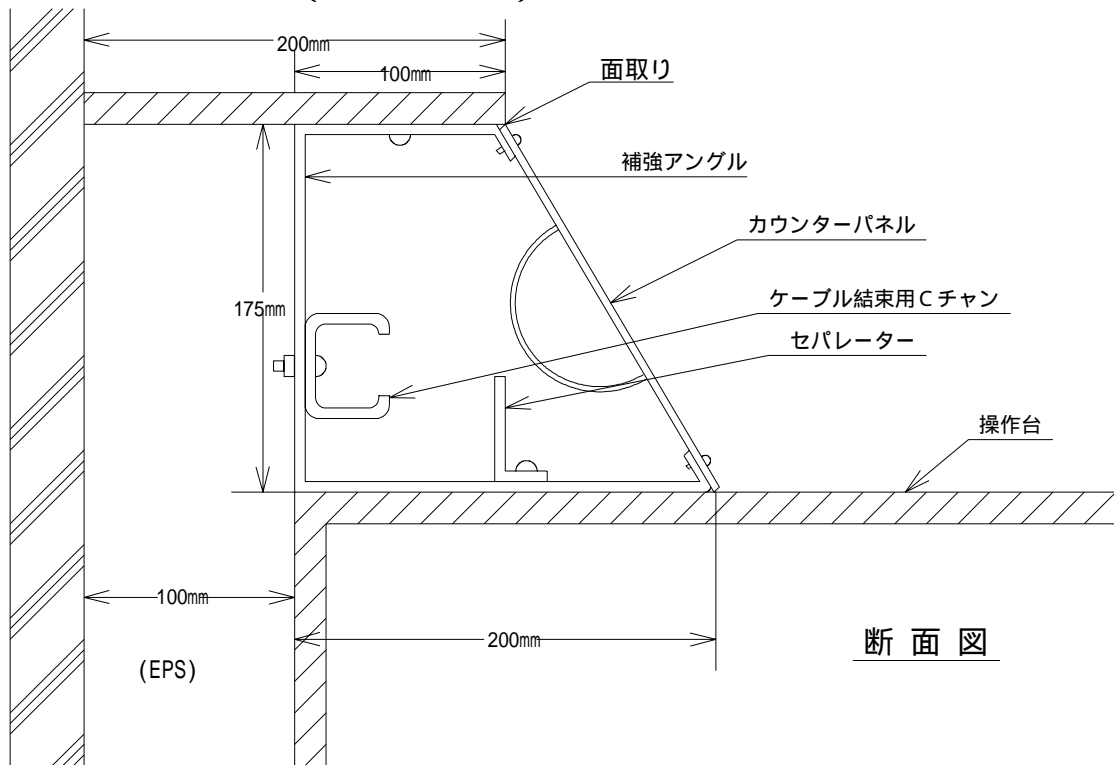
- ア．風速計は将来設置予定のものである。
- イ．屋上の風速計用基礎（建築工事）から受付ピットまで予備配管E（31）を1本配管する。

(5) カウンターパネル



詳細図





カウンターパネル仕様

1. 材質はステンレス(2.0t)ヘアライン仕上げ
2. プレートも原則としてステンレスとする
3. 操作台とカウンターパネルの角度は60°とする

番号	ネームプレート	仕 様
1	雨量計・風速計	ノズル40mm(ブッシング付)
2	A C 1 0 0 V	大角型コンセント2P15A×2ET付
3	通 信 設 備	ダルマコンセント2P15A
4	”	ノズル70mm(ブッシング付)
5	転 換 機	ノズル10mm(ブッシング付)(ここだけ新金属プレートとすること)
6	緊 急 出 動	内照式押釦×2 上=消防(赤色)(A),下=救急(緑色)(B) 寝室・廊下・階段・車庫点灯・オーバーヘッドドア開
7	ブザー,チャイム	押釦×2 上=ブザー(赤色)(C),下=チャイム(緑色)(D)
8	オーバーヘッドアスィツ	押釦×2 上:一斉開 下:一斉閉
9	消 灯	押釦×1 (赤色)(E)(寝室照明の消灯)
10	受 付 照 明	受付照明用調光器(500W)及びスイッチ(大角型)
11	照 明 ス イ ッ チ	外廻り照明スイッチ(角形・ネーム入・パイロットランプ付)
12	赤 色 回 転 灯	COSスイッチ,二重接点,左から「点灯」「断」「点灯回転」
13	オーバーヘッドアスィツ	押釦×3 上:開 中:停止 下:閉
14	オーバーヘッドアスィツ	押釦×3 上:開 中:停止 下:閉
15	A C 1 0 0 V	コンセント2P15A×2ET付(大角型)
16	A C 1 0 0 V	角形コンセント2P15A×2(赤色) 発電機盤より
17	可 変 掲 示 器	ノズル10mm(ブッシング付)(二枚割プレート)
18	通 信 設 備	丸型コンセント2P15A
19	”	ノズル50mm(ブッシング付)

注:押釦のA~Eはリレー盤結線図のA~Eと同じ。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

（6）可変掲示器

ア．設置場所

消防出張所壁面への壁付型とし，敷地の表側道路から見やすい場所に設置する。

なお，操作部は受付カウンタ - に設置し，付属ケーブルで結ぶ。

イ．負荷

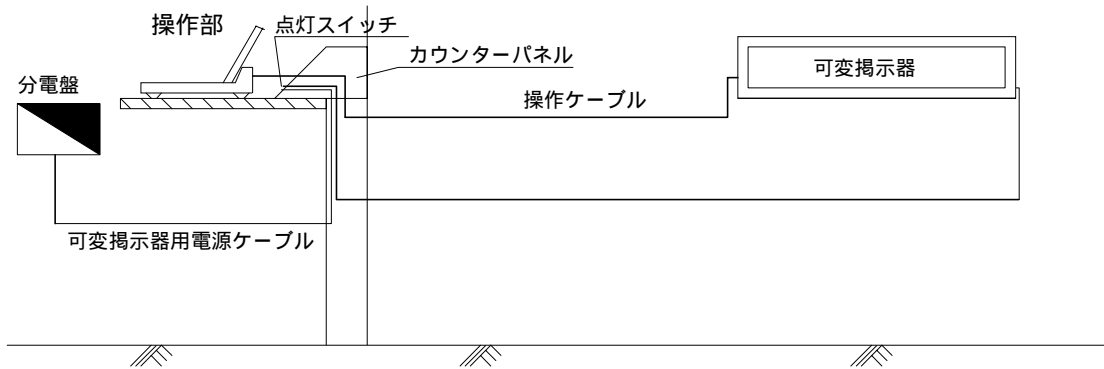
AC100V電源（100VA程度）

ウ．機能

掲示部は，3色LED型，16×16ドット，10文字表示 赤／緑／橙

操作部は，通信機能・印刷機能付パソコン。なお，プリンターを付属する。

エ．系統図



別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

1 2 . 通信指令設備工事

（ 1 ）設計，契約，施工。

本工事は，日本電気(株)との随意契約とし，設計については，電気工事の弱電平面図を上記業者に渡して配線図及び機器配置図等を書いてもらう。単価についても上記業者から見積りを取り，それに基づいて決定する。

ただし，電線ケーブル類については，部単価と同じ物がある場合は複合単価とし，機器類については非複合単価とする。

したがって工事項目は下記の通りとする。

- 1 . 配線工事
- 2 . 通信機器設置工事（非複合単価）
日本電気(株) 682-4521 担当 多田氏

（ 2 ）工事範囲

『 1 3 . 各室別機器取付一覧表』の“通信指令設備”の項目に示す機器の取付，調整及び通信用端子盤までの配線を行なう。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

13. 各室別機器取付一覧表

(1) 各室別機器取付一覧表


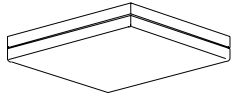
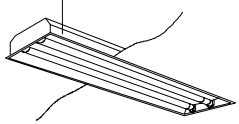
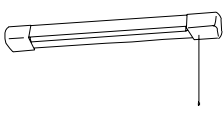
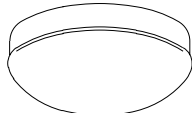
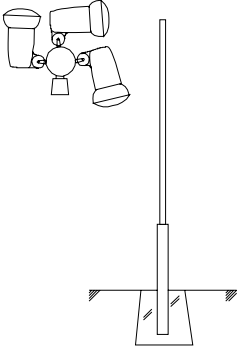

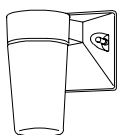
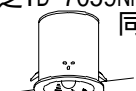
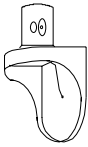
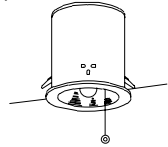
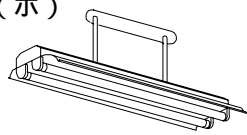
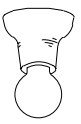
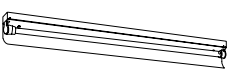
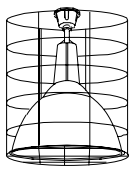
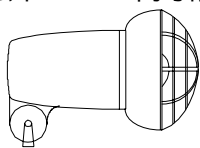
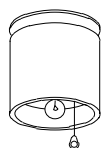

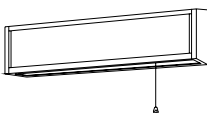
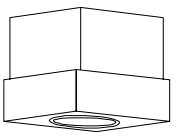
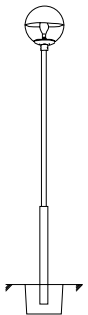

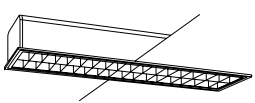
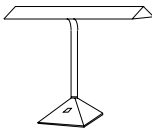
室名	幹線, 動力, 空調	コンセント	放送	非常ブザー等
事務室	分電盤 制御盤 警報盤 換気扇 30cm 2台 直流電源装置用 20AT UPS用電源 30AT	事務用 2口 3~5コ 公衆電話用 1コ コピー用 E T 付 1コ ファンコイル用 E T 付 2コ OA用 E T 付 3コ 指令ファックス用 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ ホース洗場用 アッテネータ	非常ブザー 1コ
受付		カウンター上 2ET 2コ 事務用 2ET 1コ カウンター下 2ET 2コ		
便所	換気扇 30cm 1台	ウォレット用 E T 付 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	
洗面所	天井扇電源 1台	洗面器上部 2口 3コ 洗濯機用 2 E T 1コ 乾燥機用100V E T 付 1コ 乾燥機用200V E T 付 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	非常ブザー 1コ
脱衣室	天井扇電源 1台	一般用 2 E T 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	非常ブザー 1コ
浴室	天井扇電源 1台			
車庫	発電機接続盤 ホイス用電源 オーバードア用電源	防水型 4コ 格納庫 2口 1コ	壁掛型SP 1台 アッテネータ 1コ	非常ブザー 1コ
訓練室		壁埋込 2口 2コ	壁掛型SP (ガード付) 1台 アッテネータ 1コ	非常ブザー 1コ
廊下		壁埋込 2口 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	
書庫	換気扇 20cm 1台	壁埋込 2口 1コ		
倉庫				
格納室		壁埋込 2口 2コ		
備蓄庫		壁埋込 2口 1コ		
厨房兼食堂	換気扇 30cm 1台 エアコン電源 ガス漏れ警報器 圧力扇電源	冷蔵庫用 E T 付 2コ 電子レンジ用 E T 付 1コ ファンルーム用 E T 付 1コ テレビ用 1コ ガス漏れ警報器用 1コ 一般用 2口 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	非常ブザー 1コ
消防隊寝室 (各室)	空調換気扇 1台	冷暖房用 E T 付 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	非常ブザー 1コ
救急隊寝室 (各室)	空調換気扇 1台	冷暖房用 E T 付 1コ	天井埋込型SP 1台 アッテネータ 1コ	チャイム 1コ
廊下		掃除機用 1コ		
屋上	冷暖房設備電源 食堂エアコン電源			
ホース タワー	ホース吊上機 同上用制御盤	防水型 1コ (ホースタワー上部)		
ホース 洗い場			屋外型 S P 5 W (アッテネータは事務室)	
その他外部	給水ポンプ電源 同上用電極棒 3 P	給湯機用防水型 E T 付 2コ		

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

室名	電話	TV, その他弱電	通信指令設備
事務室	* 電話機 4台 フロアーローテーション（フリーレット付） 6コ 公衆電話用 1コ	TV用ユニット 1コ 防火戸解錠スイッチ 1コ	部隊出場表示盤 4隊用 データ端末機及びプリンター
受付	電話主装置盤 * 電話主装置 * 電話機 1台	通信用端子盤 可変掲示器用操作機 雨量記録計	指令電話装置 指令電話拡声器 マイクホン(スタンド付) 転換器(12号-A)
便所			
洗面所		給湯器リモコン用 アウトレット 1コ	
脱衣室		給湯器リモコン用 アウトレット 1コ	
浴室		給湯器リモコン用 アウトレット 1コ	
車庫			シャッターセンサー 発電機 2.7KW 同上用コードリール
訓練室			
廊下			
書庫			署所用収容架 直流電源装置 UPS(1.5KW)
倉庫			
格納室			
備蓄庫			
厨房兼食堂	* 電話機 1台 同上用アウトレット 1コ	TV用ユニット 1コ	部隊出場表示盤 4隊用
消防隊寝室	アウトレット 1コ		
救急隊寝室	アウトレット 1コ		
廊下		指令電話機用押釦 (寝室入口に設置)	指令電話機T-2000 同上用電池箱 部隊出場表示盤 4隊用 部隊出場表示盤 1隊用
屋上		雨量計転倒ます 風向風速計用配管(28)	
ホース タワー		テレビアンテナ (ステンレスUV共) 無線用配管(28) 5本	400MHzアンテナ 150MHzアンテナ×2
ホース 洗い場			
その他外部		消火栓総合盤	駆け付け電話機(玄関付近) 日照センサー

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

（2）照明器具姿図

A 1 FL20W-2	G FL20W-2	N FCL30W(WP)	U IL300W×3
A21 FL40W-1	(ソ)	(松下 HW885GL 同等品)	(東芝)組合せ例
A22 FL40W-2			灯具 IK505W×3
A23 FL40W-3			ガード G25N1×3
A 2 FL40W-2SW			クランプ CR-1
(イ)			接続金具 CF-1×3
A3：(特)ステンス,防水型			ジョイント J-12
	H FL15W-1	O IL60W(WP)	ランプ RF270WHC×3
SPC マリン焼付	(ツ)	(松下 LW56391T 同等品)	ポール PDC-45-530K
			
B FL40W-1	I 1 IL40W	P 1 IL40W	
(ハ)	I 2 IL60W	P 2 IL100W	
ステンス SUS 304 マリン焼付	(ネ)	P1:東芝ID-7057NN(W) P2:東芝ID-7059NN(W) 同等品	
			
C 1 FL40W-2	J 1 IL40W(赤イトホール)	Q 赤色回転灯ビーム球60W	V IL40W(電池内蔵)
C 2 FL40W-2 P.P	J 2 IL40W(赤イトホール,ガード付)	(小糸 SBR-100 同等品)	(JIL) K1-IRS2-40
(ホ)	(ラ)		
			
D FL40W-1	K MF300W	R IL300W(リフレクター)(WP)	W IL40W(電池内蔵)
(チ)	(ヤ)	(松下 LL-5G 同等品)	(JIL) K1-ISS4-40
			
E FL40W-1(ガード付)	L FL40W-1(電池内蔵)	S MF300W	X HF100W
(リ)	(サ)	(松下 YB58214 同等品)	(JIL) HST5A-100 ポール 3.5
			
F FL10W-1	M FL40W-3	T FL15W-1(イバーク点灯)	
(レ)	(JIL) FRL2A-403	(松下 SQ903W 同等品)	
			

注1．(イ)(ロ)(ハ)・・・は、横浜市学校標準仕様とする。

注2．(J)・・・は、JIL仕様とする。

注3．(メーカー型番)・・・は、メーカー仕様(同等品の他のメーカーでもよい。)

注4．(特)・・・は、特注品。横浜市建築局特則仕様書による。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

（3）照明器具取付表（JIS Z 9110準拠(中間値)）

室名	計算照度	一般照明	非常照明	発電機灯	備考
事務室	500	A 23 × 13 ~ 14, M × 2	V × 2	P1 × 2	スイッチは所長，一係，二係，救急隊など係ごとに分ける。
受付	500	P2 × 2, T × 1	V × 1	P1 × 1	P2のスイッチは調光器付きとし，カウンターパネル内に設ける。
食堂	300	A23 × 2, H × 1		P1 × 1	
便所	150	B × 2		P1 × 1	
洗面所	150	A 21 × 2, F (J 1) × 3			鏡上の照明器具は現場に応じて，FあるいはJ1を選択する。
脱衣室	150	O × 1			
浴室	150	I 2 × 2			
消防寝室	100	A21 × 4, P1 × 1			A21はベッドの通路部分，P1は入口付近で調光スイッチホタル付
救急寝室	100	A21 × 4, P1 × 1			”
訓練室	300	K × 6, J 2 × 1		J 2 × 1	安定器函は入口付近のE P S内に設置。外部出口に避難口誘導灯(10W片面ガード付)を設置。
訓練室倉庫	100	E × 2			
車庫	100	C 1 × 4, C 2 × 4, D × 4, S × 4	W × 2	J 1 × 2	C 1はシャッター上部。C 2, S, W, J 1はシャッターを避けた後部。Dはシャッター側面。
格納庫	100	E × 2			
備蓄庫	100	E × 2			
廊下	150	A 1 × 3	V × 1		出口に避難口誘導灯(10W片面)中間に通路誘導灯(6W埋込型)を設ける。
階段	150		L × 1		
書庫	200	E × 2			
玄関		N × 1			スイッチはカウンターパネル内に設ける。
車庫前		A 3 × 4, Q × 1			A 3は底下，Qは底前面に設置。
外壁灯		G × 5 ~ 8			自動点滅器を設ける。
ホース洗い場		R × 2			防水型スイッチを近くに設ける。
ホースタワー		U × 1			防水型スイッチを近くに設ける。
外灯		X × 2			車庫出入口近くの道路側に自動点滅器を設ける。

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

（４）機器類の項目分けについて

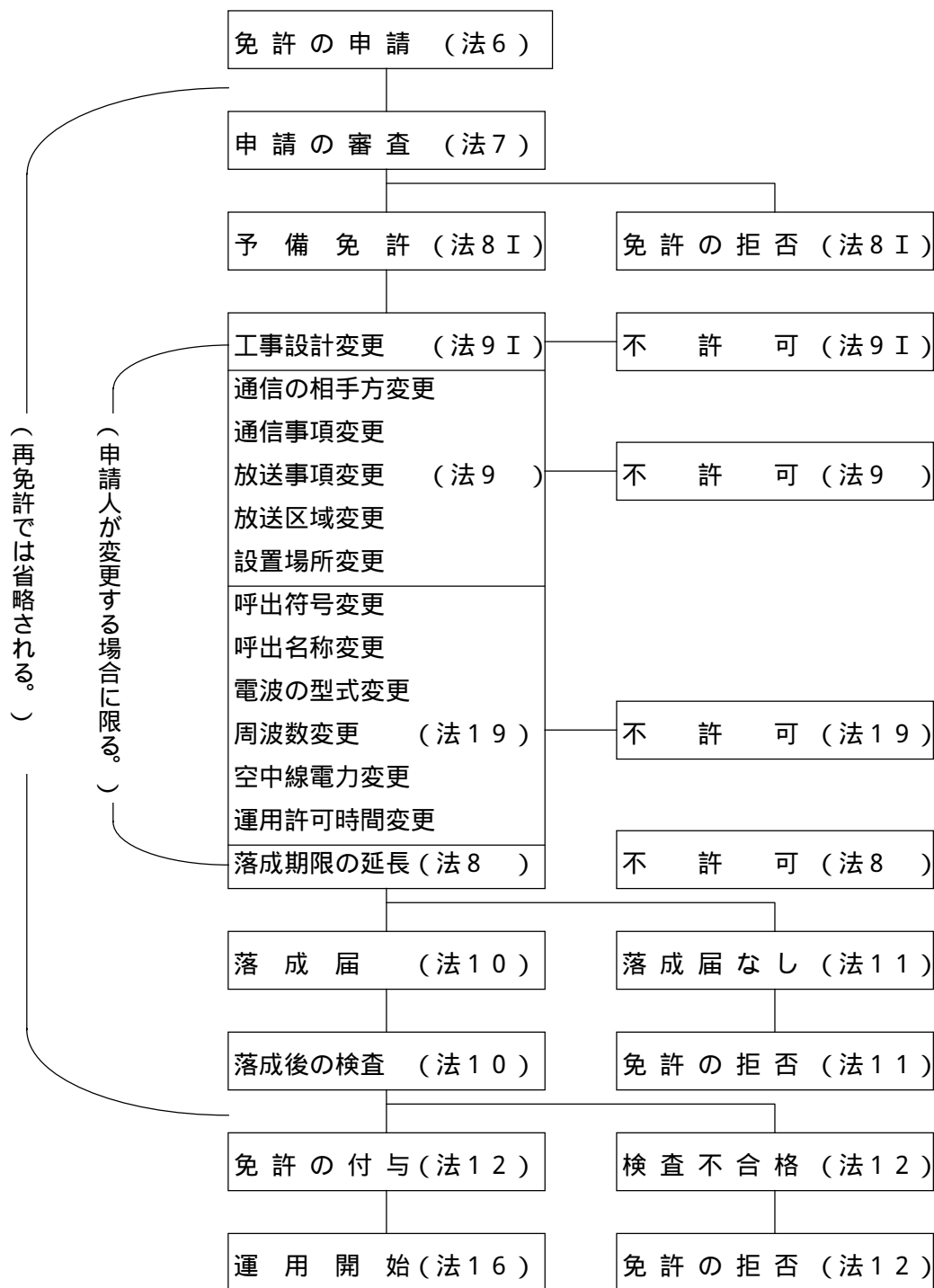
各設計書の比較検討を容易にするため、どの機器をどこの項目に入れるかは下表の通りに統一をとること。

工 事 項 目	機 器 類
電 源 電 話 引 込 工 事	引 込 開 閉 器 盤
動 力 設 備 工 事	一 体 盤 ホ ー ス 吊 上 げ 機 ホ ー ス 吊 上 げ 機 制 御 盤 各 空 調 機 手 元 開 閉 機 盤
電 灯 コ ン セ ン ト 設 備 工 事	安 定 器 収 納 函
通 信 指 令 用 配 管 そ の 他 弱 電 設 備 工 事	発 電 機 接 続 盤 カ ウ ン タ ー パ ネ ル 可 変 掲 示 器 雨 量 計

別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）
付録．無線局の免許を受けるまでの手続き

1) 免許手続きの総括

無線局の免許の申請から運用開始に至るまでの手続きを総括的に図示すれば，次のとおりである。



別紙25 消防出張所設備基準（電気設備工事）

予備免許の省略について

- ・無線局免許手続規則第15条の四 1, 2, 3

技適を受けた無線設備のみを使用する無線局については、予備免許（法8）、工事設計の変更（法9）、落成届の提出及び落成後の検査（法10）、免許の拒否（法11）をすべて省略し免許を与えられる。

通常の手続き（陸上移動局）

